

平成27年度 津別町の予算 71億5千万円の使い道



平成27年度の町の予算が、町議会の審議を経て決定しました。予算の総額は71億5,350万円で、前年度比7.7%の減となりました。また、行政サービスの中心となる一般会計は、46億8,600万円で前年度比14.9%の減。地方交付税の縮減が進められる中、効果的な行財政運営に取り組みます。今月の特集では、町の予算内容についてお知らせします。

依存 歳入の7割を超え 財源 する依存財源

一般会計予算額を科目別に見たのが下のグラフで、歳入は左下の円グラフです。

国から交付される地方交付税が24億円（前年度比10.8%減）で歳入の51.2%を占めています。これに国・道支出金、地方譲与税などを加えたものが依存財源と言われるもので、歳入全体の73.9%を占めています。

また、町債は認定ことも園整備事業による民生債の減により、前年度比66.1%の減となりました。5%の減となりました。

歳出 公債費は11.0% 編成 の減額

次に、右下の円グラフは歳出を科目ごとに表しています。歳出の9.8%を占める公債費は、事業を実施するときに借りたお金の償還金で4億5,887万円を支払うこととなりますが、昨年度から比較すると5,648万円の減額となっています。

1,029万円、町史編さん経費に1,250万円。民生費では、子ども・子育て支援事業に1億1,467万円、児童手当等扶助費に4,912万円。衛生費では、下水道事業特別会計繰出金に2億6,317万円を計上しました。

農林業費では、多面的機能支払交付金事業に3,445万円。商工費では商工振興補助費等に3,032万円、観光イベント補助費等に789万円を計上。

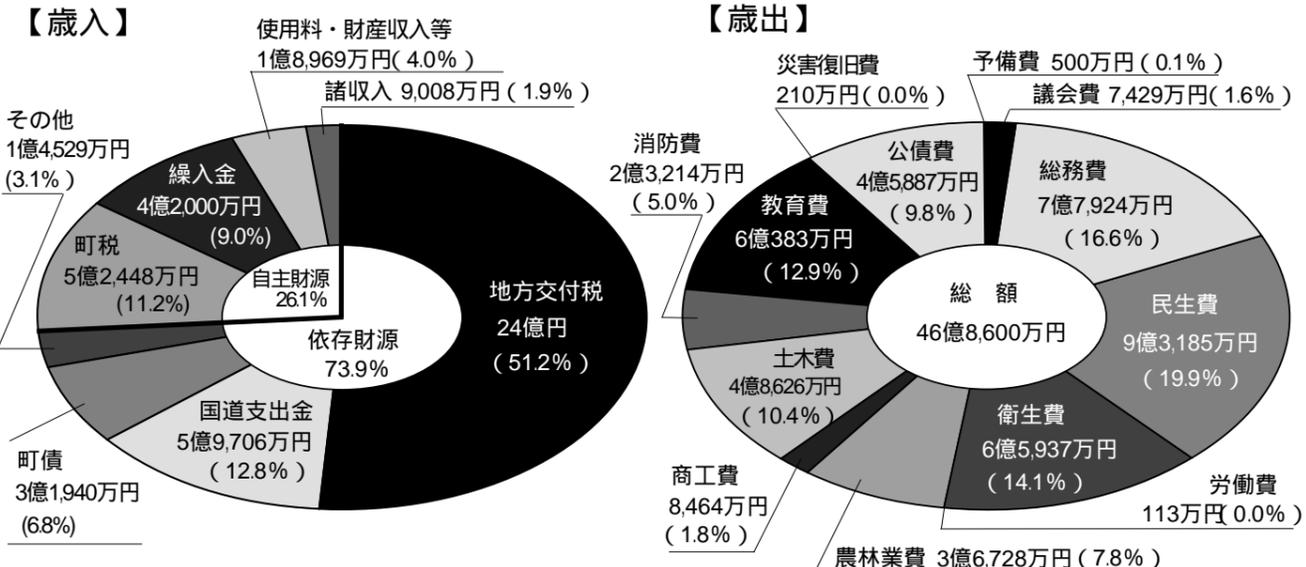
土木費では、河川維持補修事業に6,722万円、道路ストック総点検事業に4,900万円、橋梁長寿命化修繕事業に4,610万円を計上しました。また、教育費では、多目的運動公園整備事業に2,928万円、スクールバス経費として5,236万円を計上しました。

主要事業の詳しい内容、予算額については、4ページをご覧ください。

町民 町民一人当たり予算 予算 89万9,770円

また、表2は、今年の一般会計の予算額を町民一人当たりで割り返した金額です。町民5,208人の一人当たりの金額は、89万9,770円となり、それぞれの科目に振り分けられた予算は、まちづくりに皆さんの暮らしに役立てられます。

グラフ 一般会計予算額の科目別内訳



【表2】(一般会計分) 町民1人当たり予算額

899,770円

平成27年2月末現在の住民基本台帳人口5,208人で計算しています。

商工費	農林業費	労働費	衛生費	民生費	総務費	議会費
16,252円	70,522円	217円	126,607円	178,927円	149,624円	14,264円
予備費	公債費	災害復旧費	教育費	消防費	土木費	
960円	88,108円	404円	115,942円	44,575円	93,368円	

【表1】 平成27年度会計別予算額の内訳

会計名	予算額	前年度比
一般会計	46億8,600万円	14.9%減
特別会計		
国民健康保険事業特別会計	10億円	10.1%増
後期高齢者医療事業特別会計	9,290万円	4.8%減
介護保険事業特別会計	5億2,770万円	1.9%増
下水道事業特別会計	5億9,330万円	22.4%増
簡易水道事業特別会計	4,500万円	6.9%増
企業会計		
上水道事業会計	2億860万円	7.0%増
合計	71億5,350万円	7.7%減

町民の生活全般にわたる施策を行うために経理するのが「一般会計」です。歳入を慎重に見積もり、歳出においては、前年度同様ゼロベースから見直しを行いながら編成作業を進めたところ、一般会計の予算総額は、表1のとおり前年度比14.9%減の46億8,600万円となりました。この主な要因は、旭町団地買取事業及び認定ことも園整備事業の減等が上げられます。

特別会計等の増減の主な要因につきましては、国民健康保険事業特別会計は制度改正に伴う共同事業拠出金の増額、後期高齢者医療事業特別会計は広域連合納付金の減額、介護保険事業特別会計は居宅介護サービス等給付費の増額によるもの。下水道事業特別会計は特環下水道費の増額、簡易水道事業特別会計は給水施設管理費用、給水施設整備事業の増額等によるものです。

一般会計 前年度比で 14.9%の減

特別会計 特別会計予算は 前年規模を上回る